愛知県陶磁資料館

研　究　紀　要

2

シンポジウム『平安時代の土器・陶器
-各地域の諸様相と今後の課題-』の記録

1983

序

愛知県における昭和30年代の猿投窯の発掘調査結果は、それまで日本の陶磁史上、空白期といわれた奈良・平安時代の陶磁器を明らかにする画期的なものでありました。そして、その後うちたてられた猿投窯製品の年代観は、この時期の日本各地の陶磁器年代の比定の指標となって、全国に大きな影響力を持つに至りました。

一方、近年、各地の発掘調査が進展し、地域ごとにこの時代の土器・陶器の詳細な時期区分が行われるようになり、猿投窯編年観への様々な問題も提起されてまいりました。

当館では、昭和56年10月10日から11月29日にかけての特別展「猿投窯－須恵器・瓷器から中世陶へ－」におきまして、近年の調査成果に基づき、各地で出土した猿投窯製品の優品を一堂に集め、展示しましたところ、一般の方々に関心と理解を高める多大な成果を納めましたが、同時に、先の問題にからみ、猿投窯編年の再検討を含めた各地の平安時代の土器・陶器の編年を主題に「平安時代の土器・陶器－各地域の諸様相と今後の課題－」と題して、シンポジウムを開催いたしました。

シンポジウムには、9名の発表者、3名の助言者のほか、全国各地の研究者200余名の参加があり、狭い会場にもかかわらず、昭和56年11月14・15日の両日にわたり、熱心な発表と討議が行われました。そして、平安時代の全国各地の陶磁器の関連性を明らかにし、編年上の問題点を浮き彫りにするなど、大きな成果を上げることができました。

その後、各地の研究者から、この成果を早く公表してほしい旨の意見も強く、ここにシンポジウムの全容を集録し、当館研究紀要2として発行することといたしました。

本紀要が平安時代陶磁史研究に広く活用されることを願うと共に、シンポジウムに際して多くの労をとられた助言者、発表者その他の方々に深く感謝の意を表する次第であります。

昭和58年3月

愛知県陶磁資料館
館長　奥田　信之

例　　言

○本紀要は、昭和56年11月14・15日に当館主催のもと、当館3階第3展示室に於て開催されたシンポジウム『平安時代の土器・陶器－各地域の諸様相と今後の課題－』の発表・討議および講演の記録である。

○発表・討議および講演等は、次ページの目次の順序に沿って行われた。進行の状況は以下のとおりである。

11月14日(土)	13：00	開会宣言	愛知県陶磁資料館副館長	溝口　豊
		主催者挨拶	愛知県陶磁資料館々長	新美富太郎（現・副知事）
		来賓挨拶	愛知県陶磁資料館建設委員	本多静雄
	13：30	開催趣旨	同　上	楢崎彰一
	14：00～17：10	発表および質疑	東北（白鳥良一）～猿投（斉藤孝正）	
11月15日(日)	9：30～12：40	発表および質疑	陶邑（中村　浩）～九州（亀井明徳）	
	13：40～14：10	講演	東京大学名誉教授	三上次男
	14：10～16：30	討議およびまとめ	九州大学教授	横山浩一
	16：30	閉会		

（主催者側役職は、昭和56年当時）

○発表者等は、目次のとおりであるが、シンポジウム進行にあたり、助言者を楢崎彰一、三上次男、横山浩一の3氏に依頼し、進行を当館学芸員浅田員由が努めた。

○本紀要の編集には、当館学芸課職員全員があたった。録音から原稿を起こしているが、質問者の声が遠く、一部内容不明のところがあるが、そのままとした。

なお、発表内容については、正確を期するため、発表者にその正誤を依頼し、返答を受けたうえ印刷にした。しかし、読みやすくするため、重複部分などは避けた。従って、文章上の責任はすべて当館にある。

○掲載の方法は、発表順とし、当日配布された『シンポジウム「平安時代の土器・陶器」発表要旨』の発表者分を前半に再録し、発表内容および質疑を後半に載せた。また、同時に配布された資料は、一部縮小し、発表要旨の後段ないし、発表内容の途中にすべて再録した。

目　次

1. シンポジウム開催趣旨　楢崎彰一（名古屋大学教授）…… 2
2. 東北地方南部の様相　白鳥良一（宮城県多賀城跡調査研究所）… 8
3. 関東地方の窯址出土須恵器編年と年代　服部敬史（八王子市教育委員会）…… 19
4. 北陸地方の様相　吉岡康暢（石川県立郷土資料館）…… 33
5. 東海地方の灰釉陶器　柴垣勇夫（愛知県陶磁資料館）…… 43
6. 猿投窯編年の再検討について　楢崎彰一・斉藤孝正（名古屋大学）…… 53
7. 平安時代の土器・陶器―陶邑窯を中心として―　中村　浩（大谷女子大学）…… 72
8. 平安京の様相　寺島孝一（平安博物館）…… 86
9. 平城京における平安時代の焼物　巽　淳一郎（奈良国立文化財研究所）…… 96
10. 中国地方に於ける平安時代の土器・陶器の諸様相と今後の課題　伊藤　晃（岡山県々史編さん室）…… 120
11. 九州の平安陶磁　亀井明徳（九州歴史資料館）…… 128
12. 《講　演》「平安前期における中国陶磁と日本陶磁との関係」　三上次男（東京大学名誉教授）…… 138
13. 討　議（I）…… 145
14. 臨時発表「滋賀県鴨遺跡出土陶器」　兼康保明（滋賀県教育委員会）…… 150
15. 討　議（II）…… 155
16. ま と め　横山浩一（九州大学教授）…… 160
17. 追　補　楢崎彰一（名古屋大学教授）…… 163
18. 編集後記 …… 163